

組織と材質研究会 2020 秋の研究会  
『若手研究者と学生によるオンライン研究発表会』開催報告

信州大学 安江 恒  
鳥取大学 藤本高明  
東京農工大学 半 智史

2020 年 11 月 22 日に、組織と材質研究会 2020 秋の研究会を Zoom ミーティングによるオンラインライブ形式にて実施しました。コロナ禍で春の学会大会をはじめ多くの研究会が中止となり、研究発表の機会が少なくなっていることから、組織と材質研究会では、若手研究者や学生の皆さんに研究発表および討議の機会を提供したいと考え、今回は『若手研究者と学生によるオンライン研究発表会』としてオンライン発表会を企画しました。研究会の当日は、各方面から 60 名の参加を得ました。

10 名の若手研究者および学生から組織と材質に関わる様々な話題について研究発表が行われました。発表者は発表スライドを参加者と共有しながら説明し、質疑応答時はチャットで質問を受け付け、座長が指名した質問者が発言するという方式で実施しました。発表者の PC が動かなくなるトラブルが 1 件あったものの、発表順を入れ替えることで対応し、全体としてはスムーズに進行することができました。また、質疑応答は初のオンライン形式ということで質問が出にくいのではないかと懸念もありましたが、予想以上に活発な議論が行われました。研究会の終了後に、参加者にはアンケートに回答していただきましたが、開催して良かったとの意見をいただいたことに加えて、場所の制約がなくどこからでも参加しやすいとの意見や、海外の研究者に講演をお願いできるのではないかと、春の研究会は大会期間中など時期を限定しなくても開催できるのではないかとという提案など、オンライン方式の利点を活かした新たな試みにつながる可能性を共有することができました。

今回、運営の立場ではありましたが、一参加者として組織と材質に関わる様々な新知見に触れ、多くの議論ができたことを楽しく感じたのと同時に、このような議論の場が非常に貴重なものであることを再認識しました。参加者の皆様も同じように感じていただけたのではないかと思います。しばらくは一堂に会して対面形式での議論を行うことが難しい状況が続きそうですが、研究会として引き続き議論の場を作ることを積極的に進めていきます。